

オシャレで
温かい
高性能住宅



モデルハウス公開中

飯綱町大字川上2237
ツチクラ

株式会社 **ツチクラ**

週刊長野

発行所／株式会社 **週刊長野新聞社** 〒381-0036 長野市平林一丁目37番27号
☎(026)244-5946 FAX(026)243-9285
©週刊長野新聞社 2017年 ホームページ: <http://www.weekly-nagano.co.jp/> メール問い合わせは記事下参照

広告取扱／(株)ながのアド・ビューロ ☎(026)291-8604 / (株)共立プランニング ☎(026)238-8877
(株)アサヒエージェンシー ☎(026)233-2222 / (株)三広 ☎(026)244-5515
(株)週刊長野 ☎(026)244-5946 問い合わせ / info@weekly-nagano.co.jp

土曜日はリフォーム相談の日



三井のリフォーム

甲信アルプスホーム株式会社 リフォーム部
長野市七瀬中町161-1アーバンネット七瀬ビル1F TEL.026-217-4431

公民館に展示した写真を見て語り合う倉沢委員長(右)ら



農村から住宅・商業地へ 写真が物語る石渡の変貌 住民の委員会が収集・展示

石渡公民館に11月から、20枚の古い写真が飾られている。石渡区の「遺したい石渡の原風景」編集委員が住民に呼び掛けて集めた写真だ。

展示しているのは、昭和初期から平成10年代までの写真。広々とした田んぼの中に、石渡八幡神社がぼつんとある。御柱をひく生き生きとした表情の子どもたちが、リンゴ畑の脇を進む。麦わらぶき屋根の民家は、稲の裏作で小麦が作られていたことを伝えている。

同区は、長野運動公園の東側に住宅地が広がり、通りには大型店が並ぶが、かつては稲作を主とした農村だった。区を東西に貫く都

市計画道路「東部幹線」は、長野運動公園からやまびこ団地（1978年）、長野冬季五輪・パラリンピック（98年）を契機に徐々に東へ延伸。1970年ごろから梅園団地、かつら団地などの造成が進み、水田は道路や宅地に変わった。

戸数と人口は、57（昭和32）年の88戸・494人から、1042戸・2606人（11月現在）にまで増えた。2011（平成23）年を最後に、区内に水田がなくなった。

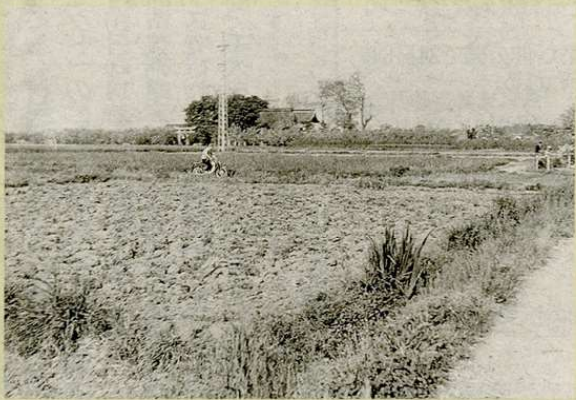
地元住民でつくる編集委員会は、変わりゆくふるさとを風景を見つめ直し、次の世代に伝えていこうと、2年前に発足。住民から石渡の風景が記録された写真を募り、

デジタルデータ化している。これまでに300枚近くを保存した。

倉沢利雄委員長は「記憶は薄れてしまうもの。写真を見ると『昔はこうだった』と思いがさる」と感慨深げ。区民から、アルバムにして全戸に配ってほしいという声も寄せられているという。

写真は石渡区公式ホームページ「石渡つうしんWEB掲示板」にも掲載。地元を離れた石渡出身者にも見てほしいし、持っている写真を寄せてほしい」と同委員会。「今の石渡の風景も後世に残したい」と、現在の写真を含めて募集を続けている。

記事・写真 竹内大介



上=昭和30年代の石渡。現在は長野運動公園や店舗、住宅に囲まれる石渡八幡神社が田んぼの中に



左上=1944(昭和19)年に撮影されたとみられる御柱祭の記念写真。現在の石渡公民館前で

左=秋の田で脱穀の作業。もんべにかっぽう着姿の女性たち

紙面紹介

- 2面 10日に市美術館で阿智村民が演劇公演
- 3面 市立博物館で「小正月」の作り物展示
- 4面 千曲の宮崎寿美さん カンボジアで文房具贈る